

# Change

2010年11月17日

No.16

JR東海労新幹線関西地本

ホームページ: <http://www.jrcu-kansai.com>

メール: [jrcu\\_kansai@ybb.ne.jp](mailto:jrcu_kansai@ybb.ne.jp)

## 「心の病」は他人事じゃない!

『Change』前号で、自殺に対する会社の〔事後的対策である「メンタルヘルスケア」だけでは全く不十分〕であると、私たちが考えていることはお伝えしましたが、問題はそれだけではありません。皆さんの職場等において「心の病（うつ病など）」で悩み、日々病と闘っている先輩・後輩・同僚がいると思います。

私たちが調査した限りでも、関西支社内で数十名の社員が治療のために薬を服用されているなど、「心の病」で悩み、苦しんでいます。

## 「自殺」を予防するどころか 促進させているのが会社だ!

これらの方の多くが「以前に管理者からイジメを受けていた」「仕事・職場になじめず悩んでいた」「仕事以外にもQCや業研で息つくひまもなく悩んでいた」ということを当該の職場では話されているそうです。

これまで私たちの身近なところでも、「太閤ビル」からの飛び降り自殺や、「のぞみ号」への飛び込み自殺など、その原因がハッキリしない社員の自殺という悲しい現実が発生したことは皆さんもご承知のことと思います。これらの原因は、会社管理者等が、己の立身出世のためにより一層社員を統括しこき使うために、業務上の些細なミスに対する執拗な叱責や、業務ではない「自己啓発」であるはずのQCを「ノルマ」化していることが社員個々の重荷になっていたり、私生活（勤務時間外）のことにまで事細かく「うるさい」くらい口出しをしはじめていることにあらわれていると考えます。そして、このことが社内における自殺やうつ病等の「心の病」を引き起こしているのであり、「自殺」や「うつ病」を予防するどころか、促進させているのが会社だと考えます。

## 会社の「自殺促進」を 下支えするユニオン幹部!

この状況を生み出したのは会社だけではなく、自称責任組合のJR東海ユニオン「幹部」もです。自らの組合員への会社からの不合理な締め付けに対して、JR東海ユニオン「幹部」は「何もせず」、自ら積極的に会社・「自殺促進」を下支えしていたからです。

自分が「心の病」にならないために、嫌なことは嫌と声を上げていきましょう!